



2023年度返品実態報告

2024年7月12日（金）

製・配・販連携協議会

（作成：公益財団法人流通経済研究所）

報告の構成

1. 調査概要（3頁）
2. 加工食品の返品実態報告（4～9頁）
3. 日用品の返品実態報告（10～16頁）

（資料）

- 加工食品・日用品の返品実態調査結果詳細資料

1. 返品実態報告 – 調査概要

■ 調査の目的

- 返品削減推進の前提として、返品の実態把握と問題意識の共有を図ることを目的として、返品実態調査を実施した。

■ 調査の方法

- 製・配・販連携協議会に加盟する卸売業及び小売業に対し、アンケート形式で調査を行った。

■ 調査の項目

- 卸売業調査
 - 小売業への売上高、小売業からの返品額、小売業からの返品理由
 - メーカーからの仕入高、メーカーへの返品額、メーカーへの返品理由
 - 返品処理経費
- 小売業調査
 - 卸売業等からの仕入額、卸売業等への返品額、卸売業等への返品理由

加工食品の返品実態報告

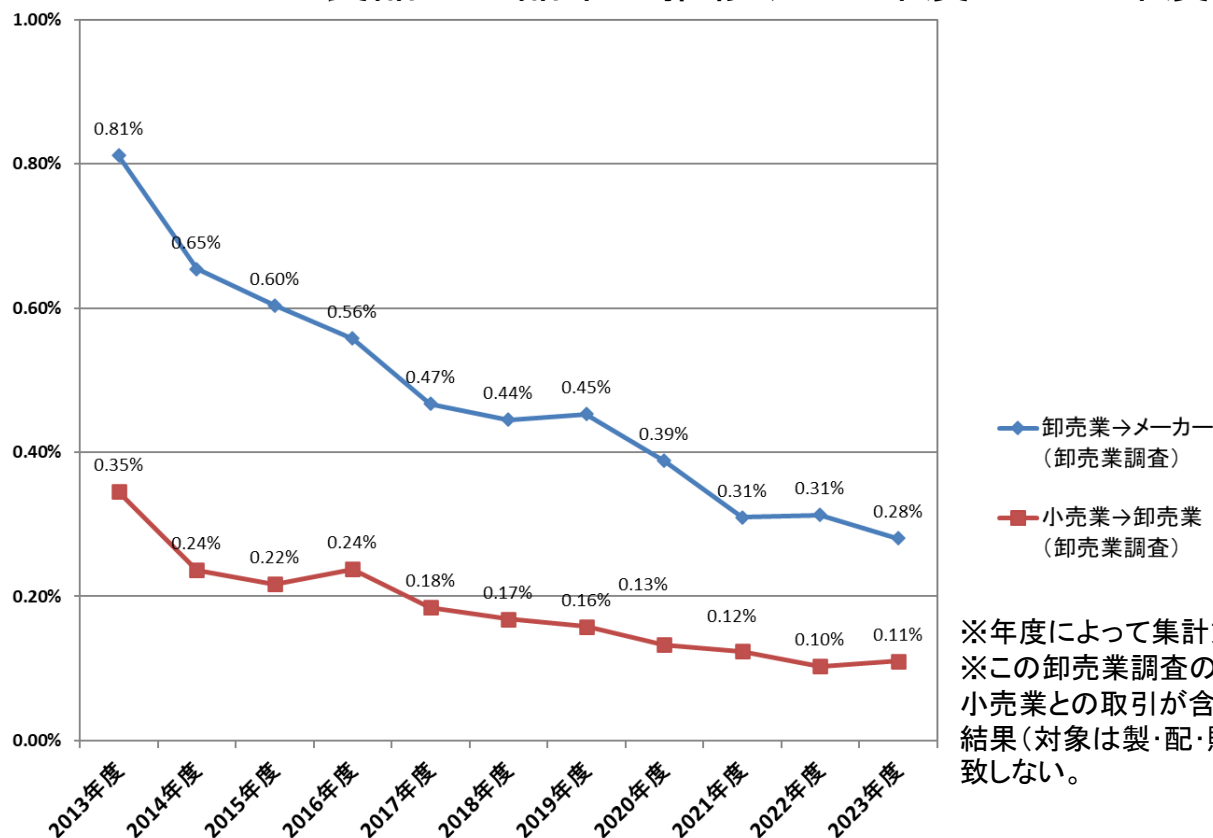
2. 加工食品の返品実態報告

(1) 返品率の推移－卸売業調査

■ 加工食品の2023年度の返品率に関して、卸売業からの返品は前年度に比べて低下し、小売業からの返品は前年度に比べて増加した。

- ・「卸売業→メーカー」の返品率は0.28%、前年度よりやや低下した。
- ・「小売業→卸売業」の返品率は0.11%、前年度よりやや増加した。

加工食品の返品率の推移(2013年度～2023年度)



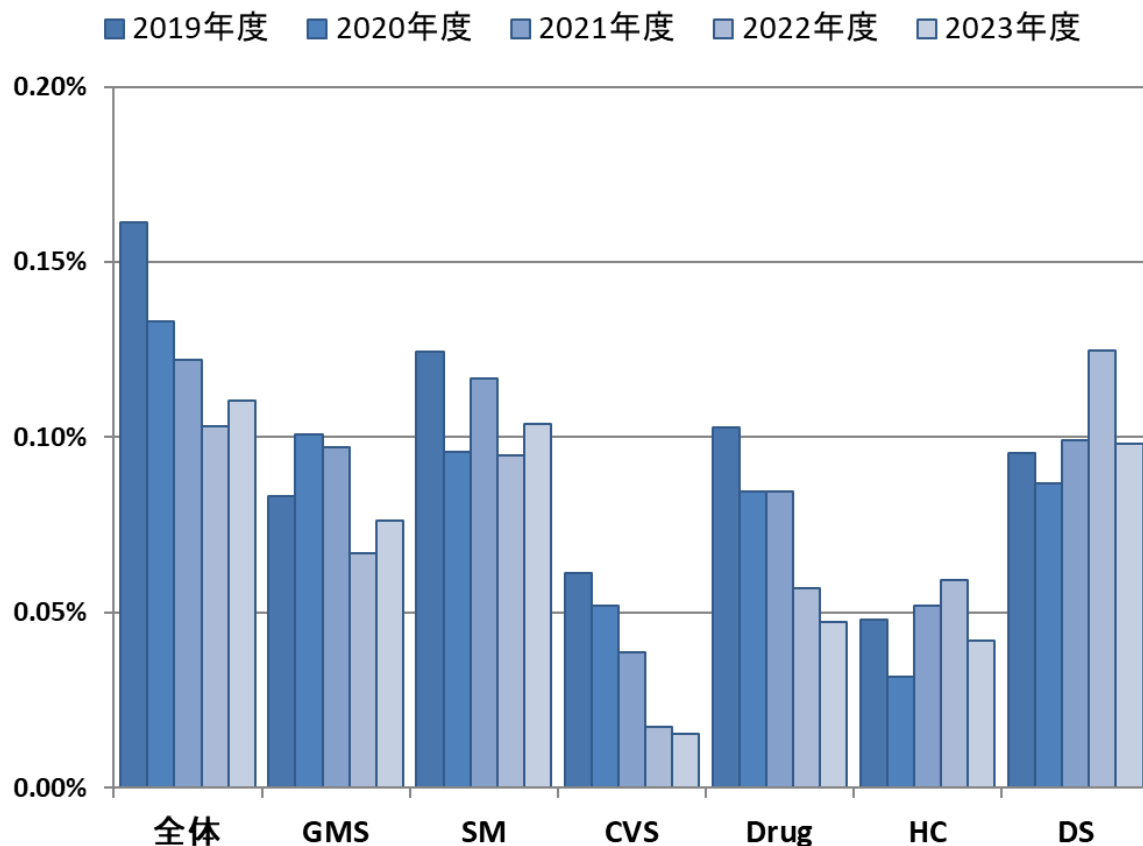
※年度によって集計対象企業が異なる。
※この卸売業調査の結果には、協議会非加盟の多数の小売業との取引が含まれている。後述の小売業調査の結果(対象は製・配・販連携協議会加盟小売業)とは一致しない。

2. 加工食品の返品実態報告

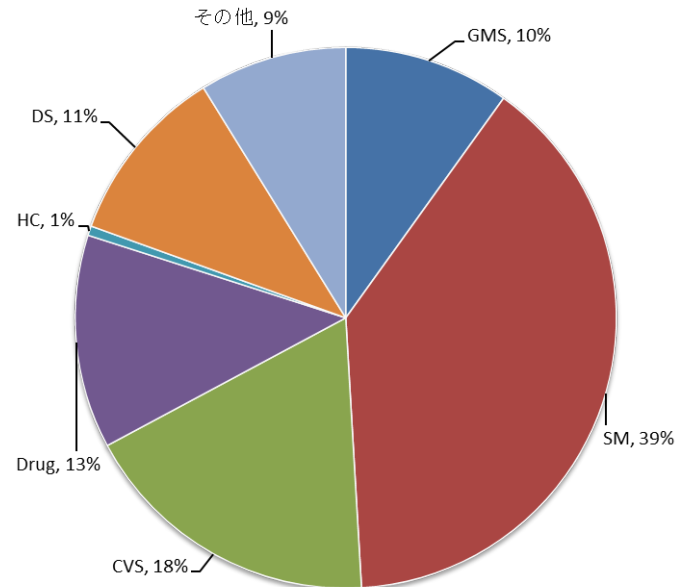
(2) 小売業態別の返品率－卸売業調査

- 卸売業調査にて、「小売業→卸売業」の返品率を業態別に集計した。
2023年度はCVS、Drug、HC、DS業態で、前年度よりも低下した。

主要業態別の返品率(2019年度～2023年度)



主要業態別の売上構成比
(2023年度)



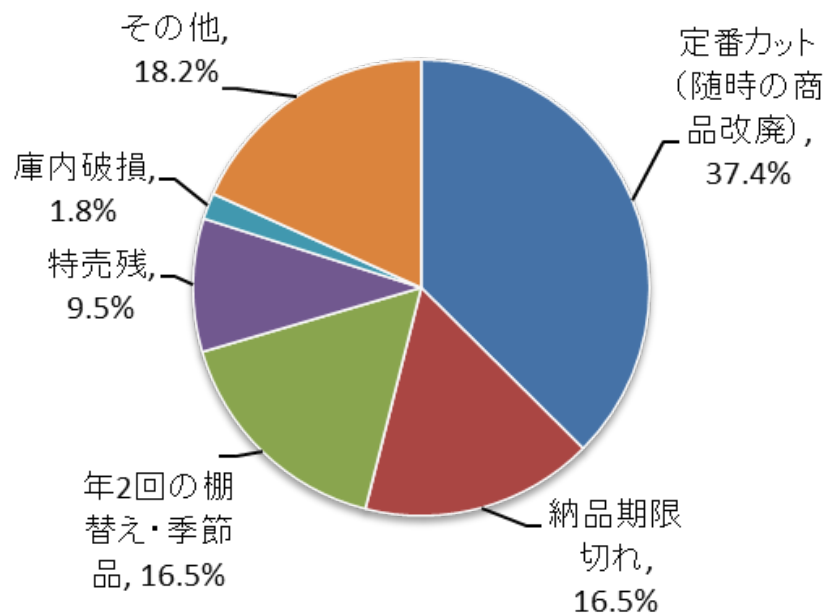
2. 加工食品の返品実態報告

(3) 返品が発生理由－卸売業調査

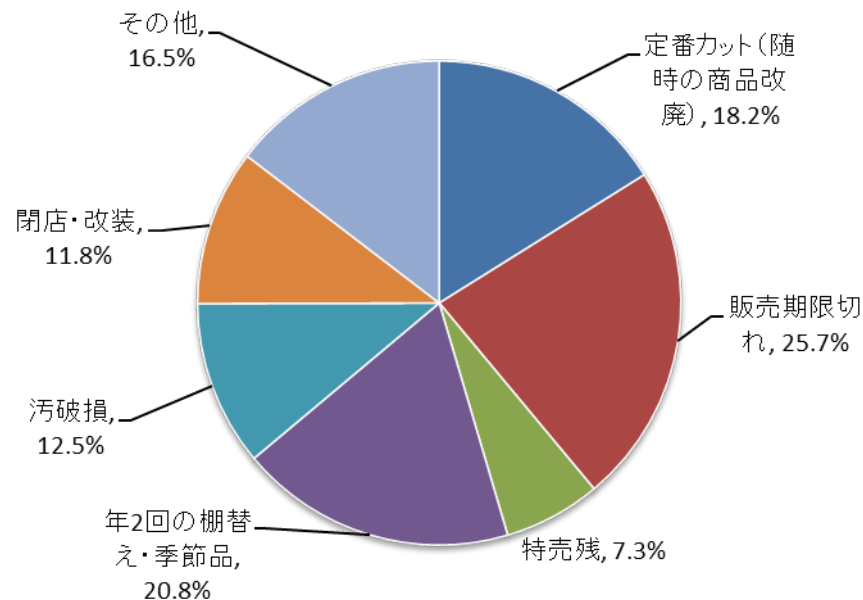
- 「卸売業→メーカー」の返品が発生理由は、「定番カット」(37.4%)が最も多く、「その他(メーカー起因等)」(18.2%)、「納品期限切れ」(16.5%)、「年2回の棚替え・季節品」(16.5%)が続いている。
- 「小売業→卸売業」の返品では、「販売期限切れ」(25.7%)が最も多く、「年2回の棚替え・季節品」(20.8%)、「定番カット」(18.2%)が続いている。

加工食品の返品が発生理由(2023年度)

＜卸売業→メーカー＞



＜小売業→卸売業＞

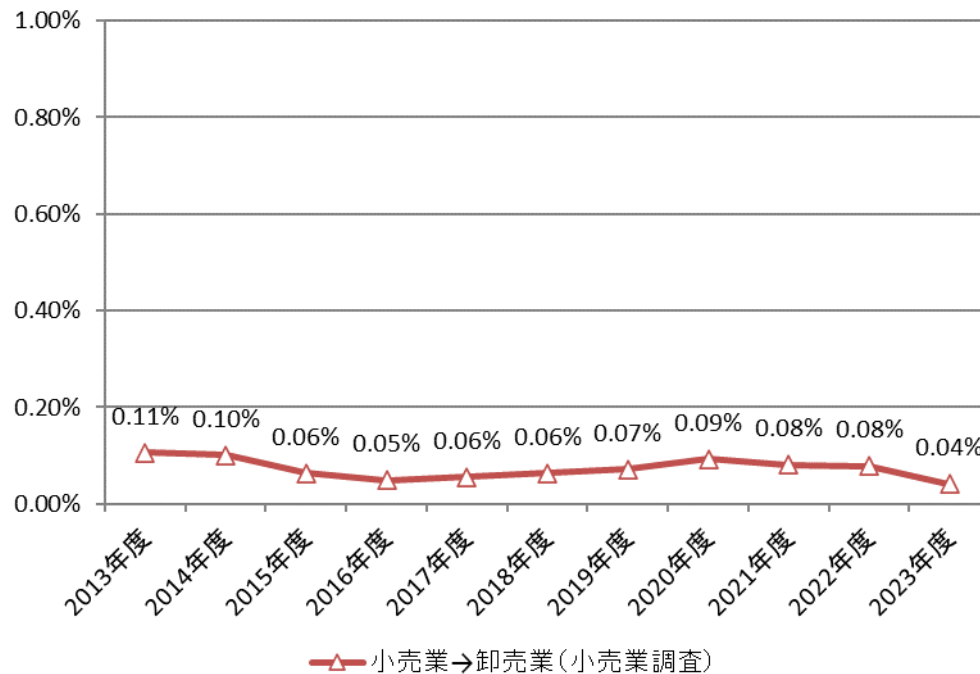


2. 加工食品の返品実態報告

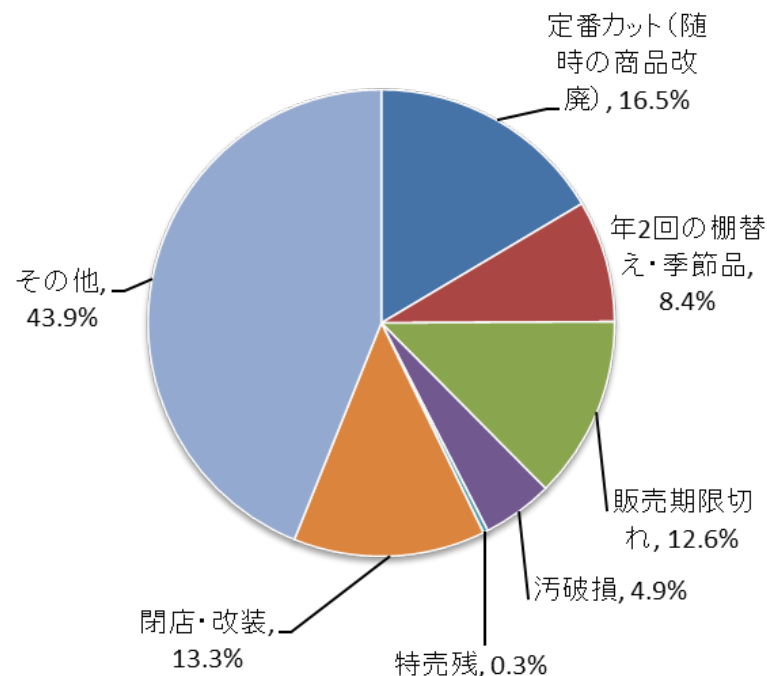
(4) 返品率・返品発生理由－小売業調査

- 小売業調査における返品率は、昨年度よりも低下した。
- 「小売業→卸売業」の返品発生理由は「その他（メーカー起因等）（43.9%）」が最も多く、「定番カット（随時の商品改廃）」（16.5%）などが多い。

加工食品の小売業から卸売業への返品実態
＜返品率の推移＞



＜返品発生理由（2023年度）＞



※年度によって集計対象企業が異なる。

※この小売業調査の対象は製・配・販連携協議会加盟小売業であり、前述の卸売業調査の結果（加盟卸売業を対象とした、協議会非加盟の多数の小売業との取引が含まれている回答結果）とは一致しない。

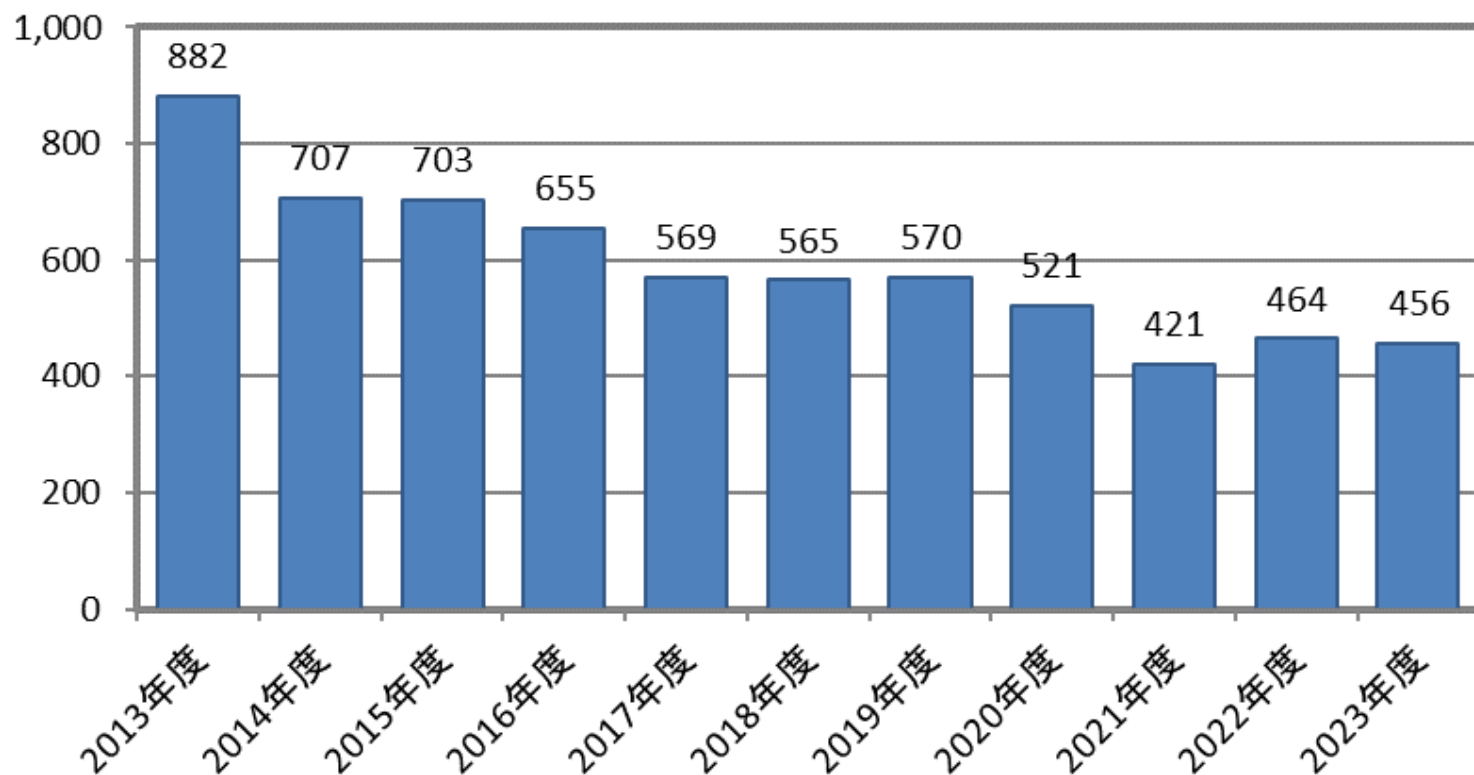
※小売業調査は2021年度に返品対象を一部変更した。この変更に伴い、2015-2020年度の数値も修正した。

2. 加工食品の返品実態報告

(5) 業界全体の返品額推計

- 業界全体の「卸売業→メーカー」の返品額を推計した。
- 2023年度の業界全体の返品額は456億円と推計される。推計された返品額は前年度よりも低下した。

加工食品の業界全体の返品額推計
(卸売業→メーカー、2013年度～2023年度、億円)

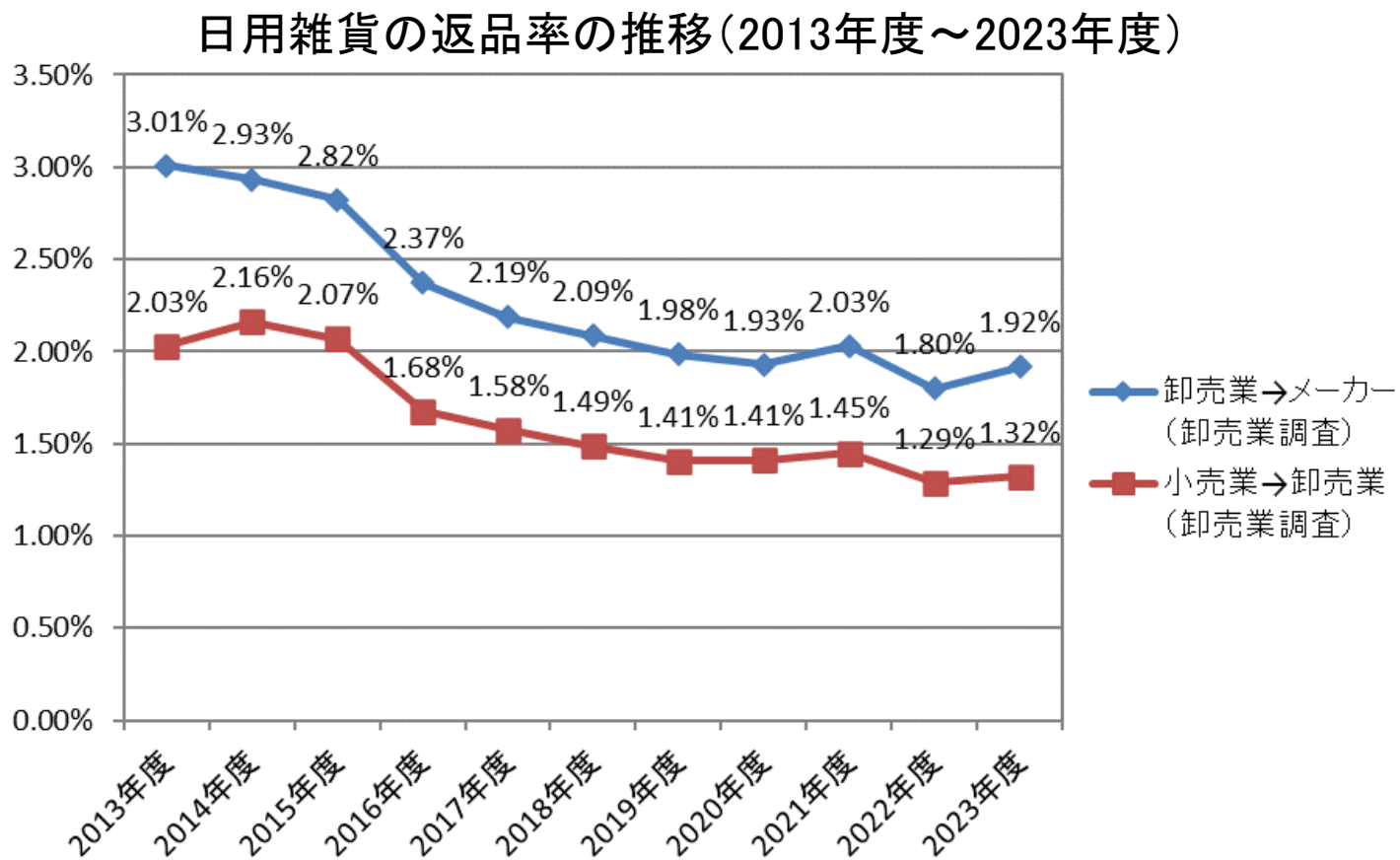


日用品の返品実態報告

3. 日用品の返品実態報告

(1-1) 日用雑貨の返品実態－卸売業調査 返品率の推移

- 卸売業調査によると、「卸売業→メーカー」の返品率は2023年度に1.92%、前年度より増加した。
- 卸売業調査の「小売業→卸売業」の返品率は1.32%、前年度より増加した。

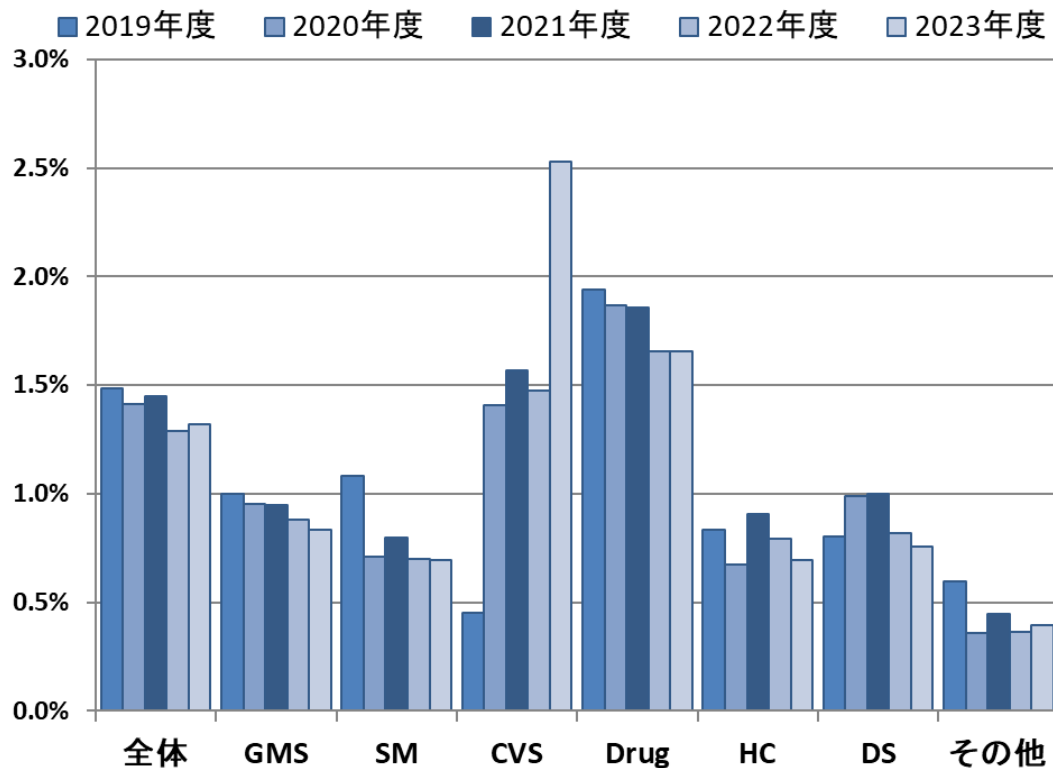


3. 日用品の返品実態報告

(1-2) 日用雑貨の返品実態－卸売業調査 小売業態別の返品率

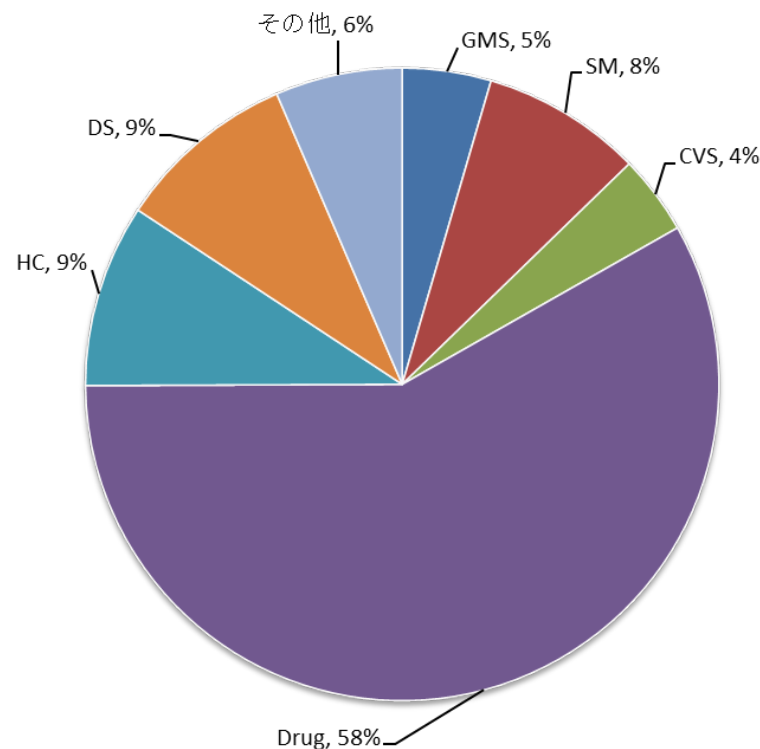
- 卸売業調査にて、「小売業→卸売業」の返品率を業態別に集計したところ、GMS、SM、HC、DS業態で返品率は前年度よりも低下した。
- ・ コンビニエンスストアの返品率が2.53%程度と昨年度よりも増加した。
- ・ 主要業態全体では前年度よりも増加を示したが、低下傾向にある。

主要業態別の返品率(2019年度～2023年度)



※上図の「全体」の返品率と前頁の返品率とは集計対象が異なるため一致しない。

主要業態別の売上構成比(2023年度)



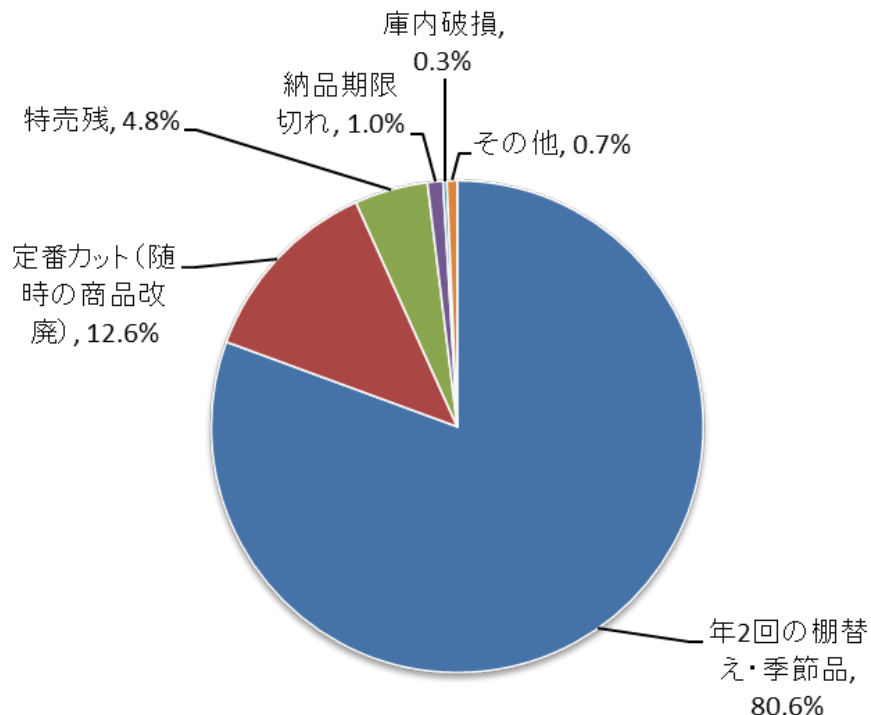
3. 日用品の返品実態報告

(1-3) 日用雑貨の返品実態－卸売業調査 返品が発生理由

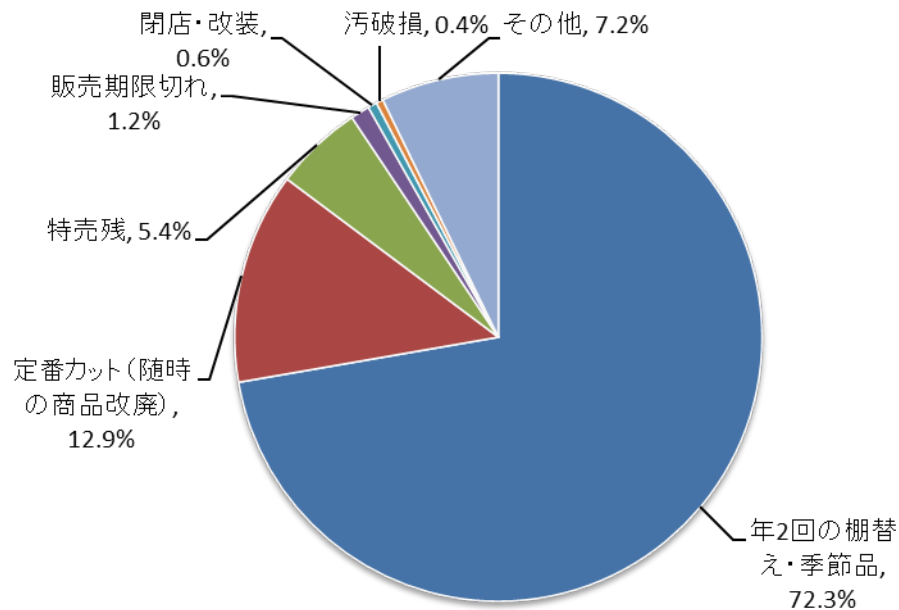
- 「卸売業→メーカー」の返品が発生理由は、「年2回の棚替え・季節品」(80.6%)が中心であり、次いで「定番カット」(12.6%)となっている。
- 「小売業→卸売業」の返品が発生理由も同様であり、「年2回の棚替え・季節品」(72.3%)が最も多く、「定番カット」(12.9%)が続いている。

日用雑貨の返品が発生理由(2023年度)

＜卸売業→メーカー＞



＜小売業→卸売業＞



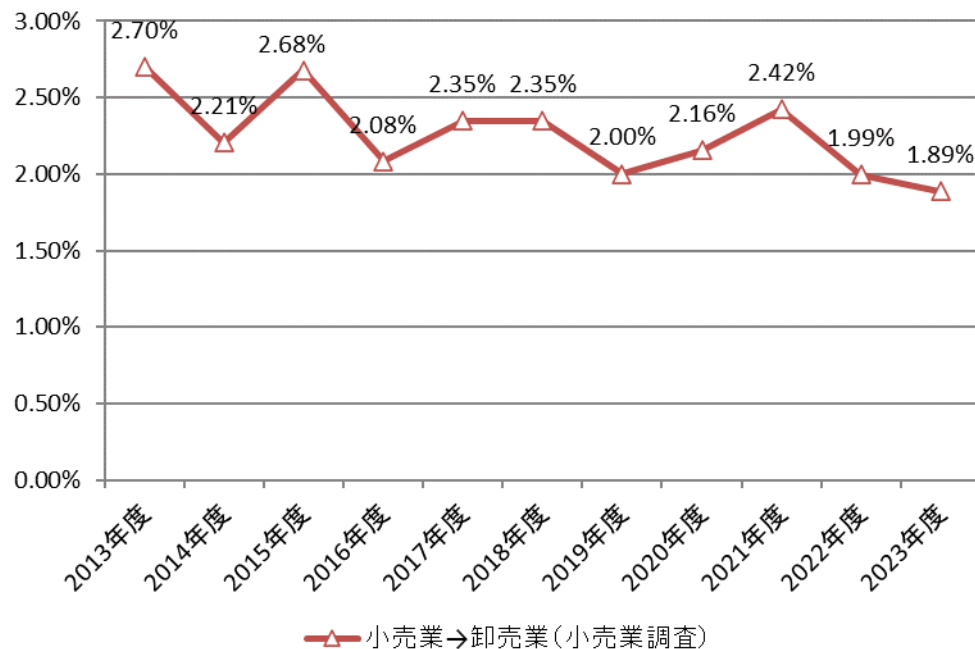
3. 日用品の返品実態報告

(1-4) 日用雑貨の返品実態－小売業調査 返品率・返品発生理由

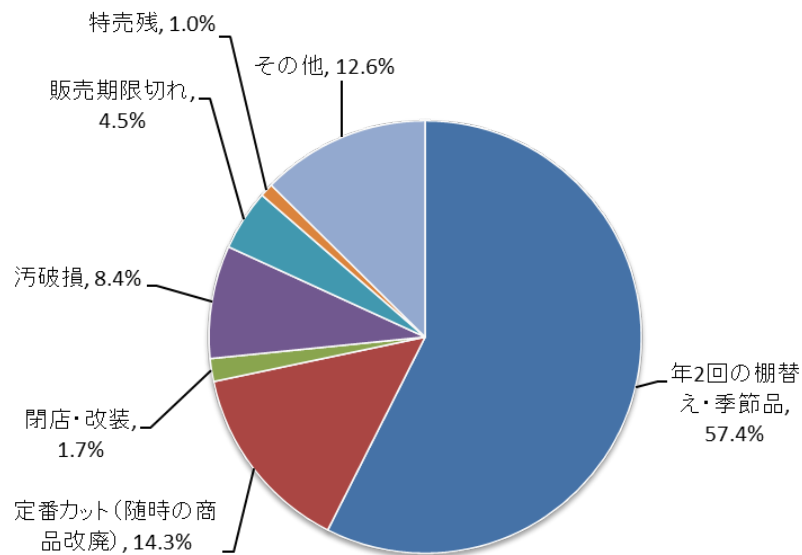
- 小売業調査における返品率は、昨年度よりも低下した。
- 「小売業→卸売業」の返品発生理由は「年2回の棚替え・季節品」(57.4%)、「定番カット」(14.3%) が多い。

日用雑貨の小売業から卸売業への返品実態

<返品率の推移>



<返品発生理由(2023年度)>



※年度によって集計対象企業が異なる。

※この小売業調査の対象は製・配・販連携協議会加盟小売業であり、前述の卸売業調査の結果(加盟卸売業を対象とした、協議会非加盟の多数の小売業との取引が含まれている回答結果)とは一致しない。

※小売業調査は2021年度に返品対象を一部変更した。この変更に伴い、2015-2020年度の数値も修正した。

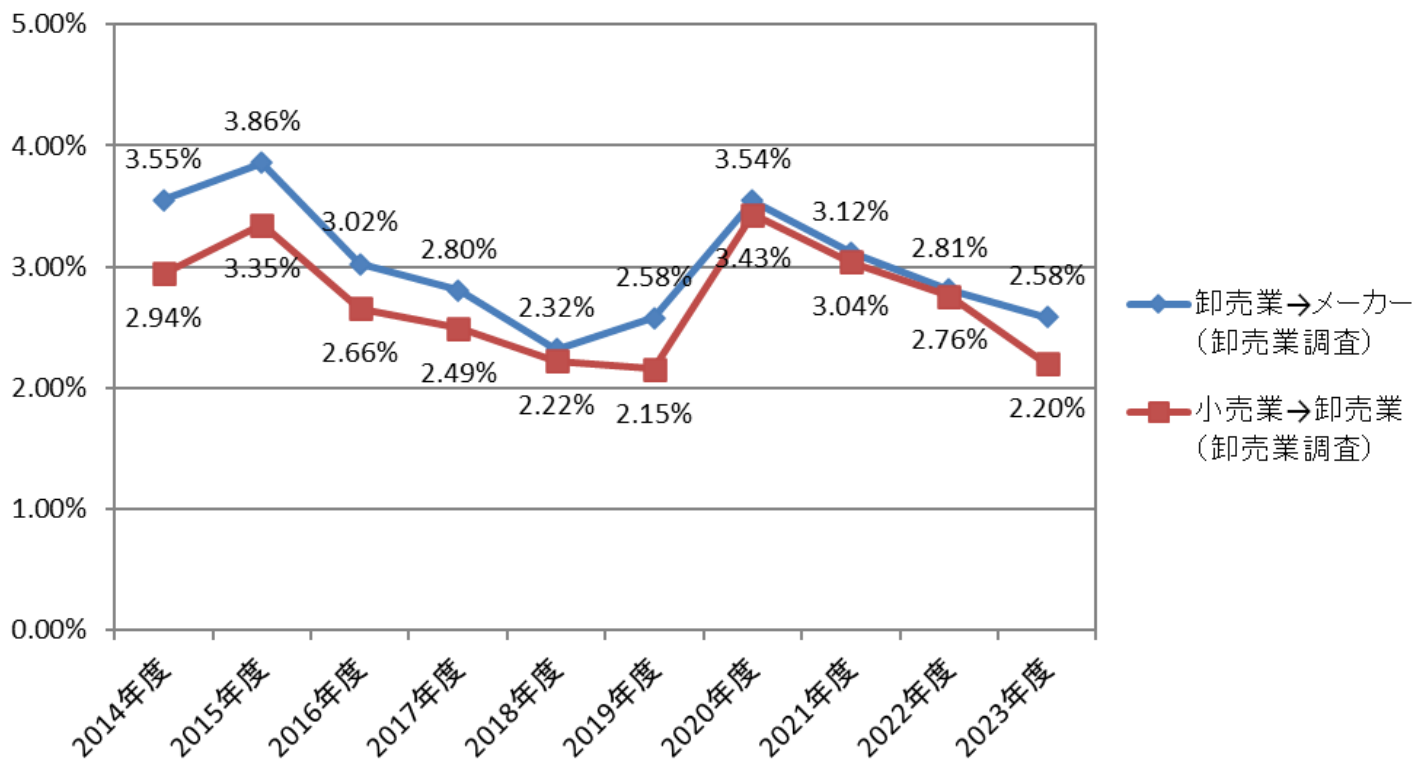
3. 日用品の返品実態報告

(2) OTC医薬品の返品実態－卸売業調査

- OTC医薬品の2023年度の返品率は、卸売業からの返品・小売業からの返品いずれも前年度に比べて低下した。

- ・「卸売業→メーカー」の返品率は2.58%、前年度より0.23%低下した。
- ・「小売業→卸売業」の返品率は2.20%、前年度より0.56%低下した。

OTC医薬品の返品率(2014-2023年度)

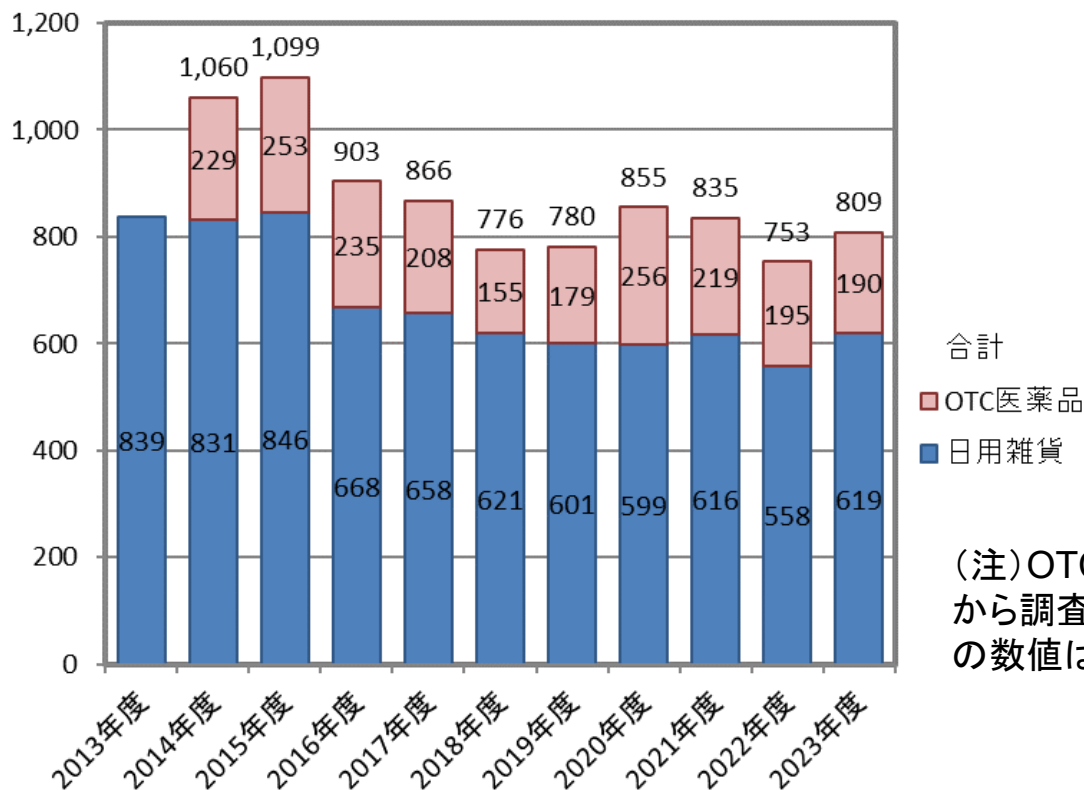


3. 日用品の返品実態報告

(3) 業界全体の返品額推計

- 業界全体の「卸売業→メーカー」の返品額を推計した。
- 業界全体の返品額は、2023年度809億円と推計され、日用雑貨は、前年度より61億円増加、OTC医薬品は、前年度より5億円低下した。
 - ・ 日用雑貨 : 619億円 (前年度より61億円増加)
 - ・ OTC医薬品 : 190億円 (前年度より5億円低下)

日用品の業界全体の返品額推計
(卸売業→メーカー、2013年度～2023年度、億円)



(注)OTC医薬品は2014年度から調査しており、2013年度の数値は調査していない。